

製品名: CD33 (18N8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08370**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CD33
別名	CD33; gp67; My9; p67; SIGLEC3;
遺伝子 ID	945.0
SwissProt ID	P20138
免疫原	ヒト CD33 の合成ペプチド

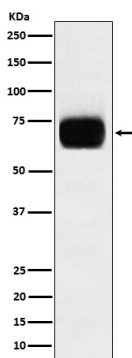
背景

骨髄単球由来細胞の推定接着分子であり、シアリン酸依存性の細胞結合を媒介する。α-2,6 結合シアリン酸に優先的に結合します。シアリン酸結合免疫グロブリン様レクチン (Siglec) は、細胞間相互作用の媒介および免疫細胞の休止状態の維持に役割を果たします (PubMed:10611343、PubMed:15597323、PubMed:11320212)。α-2,3 結合シアリン酸含有グリカン、およびより強く α-2,6 結合シアリン酸含有グリカンを優先的に認識し、結合します (PubMed:7718872)。C1q やシアリル化糖タンパク質などのリガンドが CD33 細胞質末端に存在する 2 つの免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) は、LCK などの Src 様キナーゼによってリン酸化される (PubMed:28325905、PubMed:10887109)。これらのリン酸化は、タンパク質チロシンホスファターゼ PTPN6/SHP-1 および PTPN11/SHP-2 のリクルートメントと活性化のためのドッキング部位となる (PubMed:10556798、PubMed:10206955、PubMed:10887109)。これらのホスファターゼは、シグナル伝達分子の脱リン酸化を介して下流経路を制御する (PubMed:10206955、PubMed:10887109)。CD33 の単球活性化に対する抑制効果の 1 つには、ホスホイノシチド 3 キナーゼ / PI3K が必要です (PubMed:15597323)。

研究分野

造血細胞系統;

画像データ



THP1 細胞溶解物中の CD33 発現のウェスタンブロット分析。